



# 旅行、紹介の工夫学ぶ

## 月山ジオパーク推進協議会(会長・小川一博西川町長)の学術研究・ガイド部会と商工・観光部会の合同部会が14日、庄内町立川庁舎で開かれた。関係者約45人が旅行商品を開発する際のポイントや、ジオパークを魅力的に紹介するための工夫などを学んだ。

月山ジオパーク推進協議会(会長・小川一博西川町長)の学術研究・ガイド部会と商工・観光部会の合同部会が14日、庄内町立川庁舎で開かれた。関係者約45人が旅行商品を開発する際のポイントや、ジオパークを魅力的に紹介するための工夫などを学んだ。

現地での学習会やモデルコースの整理などに取り組んできた両部会の成果報告に続き、近畿日本ツーリスト東北の川村晃東北地域誘客・インバウンドセンター所長が講義を行った。川村所長は興味深さや斬新さ、訴求力、地域性があるかを意識してツアーを組み立てることの重要性を指摘。出羽三山地域の日本遺産認定

ではガイドの養成講座を受講したものの自信がない人

はサポーターとしてツアーを支えてもらっている「伊豆では目隠しをして音と手触りで体感するガイドが好評」などの事例紹介もあった。



観光面での活用方法やより魅力を伝えられる案内について学んだ月山ジオパーク推進協議会の合同部会  
＝庄内町立川庁舎

月山ジオパーク推進協議会は18年度の日本ジオパーク認定を目指し、活動を継続している。